

パーマ編

一般的なチオグリコール酸アンモニウムの揮発性のパーマ剤を使用する場合のプロセスです。



P3～4を参照

ビーワンバランスと1剤を5：5(基準)で混合したものを塗布してコーミング

例 $\text{ビーワンバランス } 50\text{cc} + \text{1剤 } 50\text{cc} + \text{ビーワンオール } (\sim 10\text{cc}) = 100\text{cc}$

P1

ロッドの選択はヘアースタイルに応じて通常どおり

P2

ヘアーリフォーマーとヘアーキャップにて放置
放置時間などについては薬剤の使用法に準じて下さい。

ウェーブチェック
1液の追加はテストの状態で判断して下さい。

P3

ビーワンユニティーと2剤を9：1(基準)で混合したものに、ビーワンオールを全量の10%を上限に添加したものをアプリケーターでロッド1本ずつに確実に塗布

例 $\text{ビーワンユニティー } 90\text{cc} + \text{2剤 } 10\text{cc} + \text{ビーワンオール } (\sim 10\text{cc}) = 100\text{cc}$

2回塗布することをお勧めします。

P4

ヘアーリフォーマーとヘアーキャップにて放置
放置時間などについては薬剤の使用法に準じて下さい。

リンスやトリートメントを使用する場合はビーワンバランスまたはビーワンサポートに混ぜて使用。

ビーワングレースを50プッシュ以上塗布してブロー

- POINT 1 ... ウェーブダウンが気になる場合は1液を塗布後、テンションをかけて上下左右からしっかりコーミングして下さい。
※ビーワンバランスと1剤の比率は5：5でなくても結構です。髪質や損傷の程度に合わせて比率を変更して下さい。
システインやウェーブ力の弱いカール剤などの薬剤を使用する場合も異なることがあります。
※酸性パーマ、サルファイトからチオに変える場合は、ビーワンバランス：薬剤の比率を7：3～8：2にして下さい。
- POINT 2 ... パーマのかかりが悪い場合は、テンションをかけながらワインディングを行うか、ロッドを細いものにして下さい。
- POINT 3 ... 髪はほとんど軟化しないのでウェーブの具合で判断して下さい。
※1液を追加する場合は同じ比率のものを使用するか、ビーワンバランスのみを使用しても結構です。
- POINT 4 ... ※ビーワンユニティーと2剤の比率は9：1でなくても結構です。ウェーブダウンが気になる場合は2剤の比率を多くするか、2回塗布することをお勧めします。
※過酸化水素系の2剤の場合は固形物が生じることがありますのでご注意ください。



■ 2液塗布 ■